

かみすげた



平成30年2月28日
横浜市立上菅田小学校
学校だより 3月号

上菅田小学校 学校教育目標

心かがやく上菅田の子ども



- か 上菅田の「まち」を知り、地域とともに活動しよう (公)
- み みんなも自分も大切に、社会に貢献しよう (徳)
- す すてきな日本を学び、世界で活躍できる人になろう (開)
- げ 元気な心と健康な体を作ろう (体)
- た 楽しく学び、のびのびと表現しよう (知)

保護者・地域の皆様のご協力に感謝!

次年度もよろしくお祈りします!

校長 縣 利一

平成29年度も3月の一か月間を残すところとなりました。上菅田小学校創立55周年の一年間、航空写真をはじめていたしまして55周年を祝賀する様々な行事や教育活動にご支援ご協力をいただきまして、心より感謝をいたしております。たいへんありがとうございました。今は、次年度へ向け、地域や保護者の皆様からいただいた学校評価や本校職員の振り返りをもとに、30年度の経営計画の立案を行っております。また、昨年度の学習指導要領の改訂を受け、上菅田小学校の新しい学校教育目標のもと社会に開かれた教育課程づくりのスタートを切る年として、「特別の教科 道徳」「総合的な学習の時間」「特別活動」の3領域のカリキュラム作成の作業を進めております。30年度4月からの上菅田小学校の教育活動が円滑に行えるよう万全の準備を滞りなく行う一か月にしていきたいと思っております。

さて、今回の冬季オリンピックでは、日本はメダル獲得数が13個という過去最高の記録を出しました。前回のオリンピックから4年間、日本オリンピック委員会は第23回オリンピック冬季競技大会へ向け、選手育成と強化、コーチ育成を行ってきたそうです。日本人の体格や体力に応じた練習方法や競技の戦い方、メンタル面での支え、競技の特性に応じたトレーニング施設の充実等、様々な取り組みです。その結果、今回13種目のメダリストが誕生し、日本国民に大きな喜びと感動を与えてくれました。競技後に記者のインタビューにこたえるメダリストたちは、誰もが様にコーチや家族、応援してくださった方々への感謝の気持ちを述べており、とてもさわやかに感じました。オリンピック開幕中、「チーム・ジャパン」という言葉を多く耳にしました。スケートのバ

シユートやカーリングのようにチームのメンバーが共に戦うという意味でもありますが、選手を中心にコーチや管理栄養士、カウンセラーなどの関係者、さらには応援団等の人々すべてが「チーム・ジャパン」として戦ってきたのだと思います。また、メダルに届かなかった多くの選手たちの努力と頑張り、日本を背負って戦った事への敬意を払いたいと思います。

この時期、毎年、上菅田小学校では、4年生と6年生がそれぞれ、感謝の会を開きます。二十歳の成人へ向けての折り返し点として「十歳を祝う会」小学校生活6年間の節目を祝う「卒業を祝う会」で、どちらも、自分が今生きていることへの感謝と家族や多くの人のおかげで今があることへの感謝をする会です。毎年学年の個性が出ていて楽しく参観をしています。今年の4年生は合唱と教科の発表と将来の夢、6年生は合唱と思い出のダンスと今の自分について発表がありました。多くの聴衆の前で、堂々と感謝の気持ちをもって自分の夢を語る子供たちの姿は、学校や家庭・地域での日々の関わりと教育の積み重ねを改めて実感いたします。保護者全員が感動を共有できました。『感謝する心』は、人間社会のなかで心穏やかに生きる最高の発明品(斎藤茂太:精神科医・随筆家)ということだと思います。集団生活の中で社会性を身に付けるという学校の役割の一つは、この「感謝する心」を教育していくことだと確信しています。

今年の「啓蟄(けいちつ)」は3月6日で20日までの期間も表します。この間、三寒四温を繰り返しながら春の温かさが訪れ、生命の目覚めと躍動が始まります。いよいよ旅立ちと出会いの季節がやってきます。今年度のまとめと次年度への目標を定め、新たなる出発の準備を共々にしてまいりたいと思っております。

創立55周年

GoGo



上菅田小は保土ヶ谷区制
90周年をお祝いします

3月の生活目標

- 生活：最後のしめくくりをしっかりとしましょう
- 給食：楽しい会食をしましょう
- 保健：1年間、健康に過ごせたか
振り返りましょう

学校規模適正化及び建替えに関する説明会

3月8日(木)の15時より学校規模適正化及び建替えに関する説明会を上菅田小学校体育館で行います。詳しくは、2月19日付で教育委員会より配付された文書をご覧ください。

修了式・離任式

3月23日(金)の修了式後に、離任式が行われます。外国語活動講師のリタ・サカラ先生とも、この日でお別れです。希望される保護者の皆様や卒業生も参加できます。詳しいお知らせは、3月16日前後に配付予定です。

平成30年度の主な予定(4~6月)

- 4月 4日(水) 新年度の準備を学校の職員と、新6年生で行います。新6年生は、8時50分登校です。
 - 4月 5日(木) 始業式です。新しいクラス名簿を受け取ってから始業式を行います。8時05分登校です。
 - 4月11日(水) 給食開始
 - 4月16日(月) 授業参観 2~6年
学級懇談会 1~6年
 - 4月17日(火) 授業参観・懇談会やまゆり級
 - 5月26日(土) 上菅田小学校運動会
 - 5月28日(月) 運動会振替休業日
 - 6月16日(土) 土曜参観・引き渡し訓練
 - 6月18日(月) 土曜参観振替休業日
- ※家庭訪問は、昨日配付した文書をご覧ください。

スクールカウンセラー来校日

保護者、児童、教職員の相談を受け付けます。お気軽に担任か児童支援専任の成瀬までお申し込みください。原静カウンセラーが担当いたします。
3月 6日(火) 8:45~12:10
3月19日(月) 8:45~12:10

卒業証書授与式

3月20日(火) 9時45分開式 体育館
ベストを尽くして、上菅田小学校を輝かせてきた6年生が、それぞれの思いを胸に卒業していきます。また、当日の朝に全校児童で卒業をお祝いして「卒業生を送る式」を行います。
1~4年生は9時頃下校となります。5年生は、在校生を代表して卒業証書授与式に参加します。



学校運営協議会

今回の協議会内容

- 1 会長挨拶
- 2 学校長挨拶
- 3 教育課程の進捗状況について
- 4 学校いじめ防止基本方針
- 5 来年度の学校運営協議会
- 6 その他
- 7 質疑等
- 8 学校評価について

2月21日(水)に第4回学校運営協議会が行われました。「社会に開かれたカリキュラム」ということで新学習指導要領のもと、来年度より先行して全面実施となる特別活動と総合的な学習の時間のカリキュラムの進捗状況について説明させていただきました。新学習指導要領ではどの教科領域においても、育成することを目指す資質・能力は学習した結果育まれるものではなく、学習の過程において育まれるものであることが強調されています。カリキュラムを編成する上でこのことをしっかりと考え、これからカリキュラムを編成していきたいと思えます。

また、本校の「学校いじめ防止基本方針」について、委員の皆様にご意見をいただきました。学校・家庭・地域それぞれでできること、必要に応じて連携を取りながらできること、すべては「子どもたち一人ひとりが安心して学校や地域で生活できるようにするために」ということを中心に改訂しました。改訂した基本方針については、2月末に学校ホームページに掲載しますので、ぜひご一読いただけたらと思います。

マラソンチャレンジ



体育委員会児童が企画・運営をし、当日準備もします。低学年に並走します。

上菅田小学校の体育・健康プランに示した体力向上の取組の一つとして、活動を継続して6年目を迎えました。中休みにペア学年で行い、内側を低学年・外側を高学年が走ります。一人ひとりが自分のペースで、10分間精一杯走り続けます。



「燃えてヒーロー」、「Runner」、「負けないで」のリズムに乗って、走り続けます。

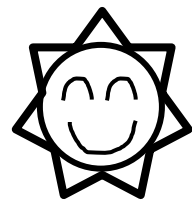


さあ！！準備万端で、いよいよスタートをします。



ゴール後には、担任と一緒に周回数を確認し、個人のカードに記録をします。

やまゆり級 学習発表会



2月16日(金)に横浜市小学校個別支援学級・特別支援学校合同学習発表会が行われました。この合同学習発表会は、保土ヶ谷区にある小学校の個別支援学級の子どもたちが集まって、学習の成果を発表し合う場です。今年もやまゆり級は「上菅田大道芸」を披露しました。内容は、皿回しとディア波罗(中国ゴマ)に、パントマイムを新たに加えて発表しました。それぞれの子どもたちが、自分が挑戦する技の練習に一生懸命取り組んできました。仲間たちと切磋琢磨して取り組んできた成果を、大きなステージで見せることができました。



5年生が開会式の初めの言葉を務めました。堂々と話をする事ができました。

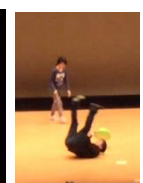
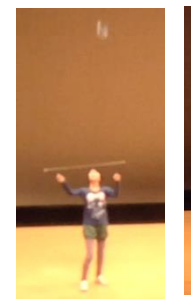
4年生のあいさつで幕開けです。「それでは、上菅田大道芸の始まりです！」



皿回しの発表です。初めは普通に回すだけでも大変な技ですが、たくさん練習してポーズを決めたり、トスを上げたり、フラフープを回しながら皿を回したりすることができるようになりました。



一から話し合っで作ったパントマイムです。まるで大きな雪玉があるように見えます。



ディア波罗の「ハイトス」はキャッチするのがとても難しい大技です。成功した時は大きな拍手に包まれました。



「ありがとうございました！」6年生の言葉と号令で、息の合ったあいさつで締めくくることができました。

